

2024～25 年度 役員・理事・委員会構成（案）

理 事 ・ 役 員

役 員	氏 名	理 事	氏 名
会 長	戸 田 尊 文	会 長	戸 田 尊 文
直 前 会 長	城 戸 総 一 郎	前 会 長	城 戸 総 一 郎
会 長 エ レ ク ト	一 由 麻 里	エ レ ク ト	一 由 麻 里
副 会 長	古 川 靖 明	副 会 長	古 川 靖 明
幹 事	山 崎 直 人	幹 事	山 崎 直 人
会 計	井 戸 田 精 一	会 計	井 戸 田 精 一
S A A	山 村 安 徳	無 任 所	井 上 家 昌

会 場 監 督 (敬称略)

S A A	副 S A A	井 上 家 昌	奥 林 繁 一	山 田 隆 教	芳 田 至 弘
山 村 安 徳		城 戸 総 一 郎	浅 田 靖 弘	森 川 晃 介	吉 川 雄 太
		明 石 記 世 彦			

各 種 委 員 会

常 任 委 員 会 委 員 長	副 委 員 長	担 当	委 員 名
I 会 員 組 織	一 由 麻 里		
(1) 会 員 増 強 ・ 職 業 分 類	芳 田 至 弘	城 戸 総 一 郎	齊 藤 勝 俊 広 田 甫
(2) 会 員 研 修 ・ 会 員 選 考	北 川 忠 嗣	表 康 之	川 口 淳 三 水 上 雅 博
II ク ラ ブ 運 営	古 川 靖 明		
(1) 出 席 ・ プ ロ グ ラ ム	河 村 幸 司	田 原 さ お り	表 康 之 島 顕 侑 天 野 正 亮 北 埜 登 金 村 時 喜 井 戸 田 精 一 新 井 繁 太 郎 山 本 行 伸 迫 谷 聡 太 前 田 興 二 溝 畑 洋 子 横 谷 英 二
(2) 親 睦 活 動	滝 川 晃	吉 川 宏	吉 崎 広 江 松 木 俊 明 吉 川 雄 太
(3) 広 報	石 田 肇	岡 田 耕 治	宮 澤 三 雄 田 中 哲 男 小 林 正 二 石 川 亨
III 職 業 奉 仕	西 村 智 子	横 谷 英 二	常 楽 寺 喜 雄 山 村 安 徳 鳥 居 善 太 郎 明 石 記 世 彦
IV 社 会 奉 仕	迫 谷 聡 太	井 戸 田 精 一	寺 西 太 一
V 国 際 奉 仕	中 西 徹	浅 田 靖 弘	北 川 忠 嗣 山 岡 信 也
(1) ロ ー タ リ ー 財 団	山 本 行 伸	天 野 正 亮	大 橋 秀 典 金 村 時 喜 鎌 倉 徹 溝 畑 洋 子
VI 青 少 年 奉 仕	田 原 さ お り	森 川 晃 介	
(1) 米 山 奨 学	新 井 繁 太 郎	古 川 靖 明	駒 林 廉 弘 藤 本 良 男

会 計	井 戸 田 精 一	会 計 監 査	西 村 智 子
-----	-----------	---------	---------

中 長 期 計 画 委 員 会	吉 崎 広 江	島 顕 侑 岡 田 耕 治 北 川 忠 嗣 広 田 甫 河 村 幸 司 戸 田 尊 文 井 戸 田 精 一 城 戸 総 一 郎
-----------------	---------	--

東 大 阪 東 フ ュ ー チ ャ ー ロ ー タ リ ー 衛 星 ク ラ ブ	城 戸 総 一 郎 新 井 繁 太 郎
---	---------------------

《 地 区 関 係 》	ガ バ ナ ー	大 橋 秀 典	大 阪 ・ 関 西 万 博 関 連 事 業 実 行 委 員 会 委 員	大 橋 秀 典
規 定 ・ 決 議 審 議 委 員 会 委 員		大 橋 秀 典	地 区 代 表 幹 事	吉 崎 広 江
副 代 表 幹 事	中 西 徹	田 原 さ お り	古 川 靖 明 (ガ バ ナ ー 月 信 担 当)	
地 区 幹 事	前 田 興 二	吉 川 宏	石 田 肇 岡 田 耕 治 齊 藤 勝 俊 河 村 幸 司 一 由 麻 里	
	山 崎 直 人	新 井 繁 太 郎	北 埜 登 戸 田 尊 文 西 村 智 子 松 木 俊 明 城 戸 総 一 郎	
地 区 財 務 委 員 長		前 田 興 二	地 区 財 務 委 員 会 委 員	吉 崎 広 江
地 区 財 務 委 員 会 会 計		吉 川 宏		
地 区 職 業 奉 仕 委 員 会 委 員		西 村 智 子	地 区 米 山 奨 学 委 員 会 委 員	新 井 繁 太 郎
地 区 ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会 委 員		戸 田 尊 文	地 区 青 少 年 交 換 委 員 会 委 員	滝 川 晃

Rotary  HIGASHI-OSAKA EAST R.C.
国際ロータリー 第2660地区 東大阪東ロータリークラブ

CLUB WEEKLY No.2797

国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

会長 城戸 総一郎

私たちの行動から希望が生まれる
活力あふれる楽しいクラブを築こう！

Rotary District2660  CREATE HOPE in the WORLD 

水と衛生月間

例会日：2024年3月14日
(令和6年3月14日)

今日の例会	2024年3月14日	来週の例会
<ul style="list-style-type: none"> ■ 本日の卓話 「中東地域における国際情勢」 浅田 靖弘 君 ■ 今日の歌「町に灯を」 ピアノ 岩島 佳子 先生 ■ 例会後 PETS打ち合わせ 13:40～ 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 3月21日(木) 卓話「100年企業の創り方」 社会保険労務士法人大竹事務所 社会保険労務士 大竹 光明 様 (大阪うつぼロータリークラブ) (表 康之会員紹介)

会長の時間 城戸会長

10日(日)東大阪RC主催(当クラブ協賛)の第8回ラグビーフレンドシップマッチのセレモニーに参加して参りました。これは各地クラブチームの小学校6年生を主体とした大会で当初東大阪RCさんが協賛されたもので、会を重ねるごとに協賛クラブも増え今回8回目を迎えることとなりました。当日は晴天にも恵まれ、近畿地区を中心に100チームを超える1500名の選手を含む保護者・関係者併せて5000名規模の大会が盛況に開催され、その規模と元気いっぴいのプレーに驚きと共に、ワールドカップが開催されたメイングラウンドに立たせていただけたご縁に感激致しました。さて、「東日本大震災」から13年目となる今日(3月11日(月)現在)亡くなられた多くの方々のご冥福を、改めて心よりお祈り申し上げます。震災当時の状況は、JCでも炊き出しで訪れ、今も深く心に焼き付き、被災地の皆様のことを思うと胸が締め付けられる思いです。そこで本日は、愛読書「致知」から改めて当時中国でも話題になった記事を紹介いたします。(一部抜粋)中国ではいま一人の日本人男性の命懸けの行為が国民の間で大きな感動を呼んでいます。宮城県女川町の佐藤水産専務・佐藤充さん。享年55歳。佐藤さんはその時、港のすぐ傍にある会社で業務に当たっていました。佐藤水産は東京築地市場をはじめ、全国の主要都市に出荷を続ける生ウニの老舗で、佐藤さんはその営業責任者でした。近年では中国遼寧省の大連から研修生を受け入れており、3年という期限付きで20人が加工や出荷に携わっていました。震災が起きたこの日も、いつもどおり 冷たい水作業に手をかじかませながら和気藹々と仕事に勤しんでいたのです。午後2時46分、突然の激しい揺れが襲いました。驚いた研修生たちはすぐに寄宿舎の傍の小高い場所に避難しました。しかし彼女たちには津波に対する十分な知識がありません。佐藤さんは怯えながら寄り添う研修生の姿を発見するや「もうすぐ津波が来る。早く避難しなさい」と大声で伝え、高台にある神社まで連れて行きました。そして、残っている従業員や研修生はいないと、自らの危険を省みることなく再び会社に戻ったのです。すでに津波は目前に迫っていました。水嵩は1秒ごとに増していきます。佐藤さんは屋上に逃げたものの、高台にいる研修生の前でついに社屋ごと津波に呑まれ、そのまま行方が分からなくなりました。研修生たちはなすすべもなく、泣きながら見守ることしかできなかったといいます。大雪の中、帰る場所を失い途方に暮れる研修生たちを助けたのは、佐藤さんの兄で社長の仁さんでした。仁さんは悲嘆に暮れる間もなく、手手に住む知り合いに助けを求めて研修生の居場所を確保し、20人全員を無事中国に帰国させたのです。「あの時、もし佐藤専務に助けられなかったら、私たちは全員津波の犠牲になっていた」研修生たちがそう涙ながらに語る姿を中国のテレビや新聞は一斉に報じました。報道は国民に大きな反響を呼び、同国のポータルサイトには、「彼は愛に国境がないことを教えてくれた」「彼の殺身成仁精神を中国人は決して忘れない」という声が殺到しました。当時の佐藤氏の命がけの行動に感銘された台湾の会社経営者ら5人が、【日本大震災の復旧に貢献したいと、救急車や消防車の購入費1億3000万円を宮城県内の被災地の消防本部に寄贈】車両には被災者の救命に尽力し、命を落とした女川町の水産加工会社専務佐藤充さん(55歳:当時)と防災対策庁舎2階にある放送室で、町民に津波の襲来を告げ続けながら、我が身は波にさらわれ散ってしまった遠藤未希さん(享年24歳)の名前がそれぞれ救急車に「みつる号」・消防車に「未希号」と命名されました。(一部抜粋)「我先に」の想いが多い昨今、お二方の行動には本当に胸を打たれます。「愛に国境はない」の言葉はぐっと刺さりました。連日の地震報道の最中。いざという時、恥じない行動で対応したいものです。

東大阪東ロータリークラブ HP: <http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会 長: 城 戸 総 一 郎 創 立: 昭 和 40 (1965) 年 3 月 4 日 例 会 場: ホ テ ル セ イ リ ユ ウ 例 会: 毎 週 木 曜 日 12:30 ~

幹 事: 井 戸 田 精 一 事 務 局: 〒 579-8012 東 大 阪 市 上 石 切 町 1-11-12 ホ テ ル セ イ リ ユ ウ 302 号 室

会 報 資 料 担 当: 井 上 家 昌 TEL072-985-0189 FAX072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

幹事報告

井戸田幹事

《これからの予定》

- 【1】 本日例会後、13:40～PETS打ち合わせ
 - 【2】 3/16(土)2024-25年度のための会長エレクト研修セミナー(PETS)
(戸田会長エレクト出席、地区幹事・委員会担当スタッフ出席)
 - 【3】 3/18(月)3月度地区幹事団会議 16:00
於:ガバナー事務所
 - 【4】 3/20(祝・水)春の家族会
 - 【5】 3/22(金)地区研修・協議会事前説明会
- 《連絡事項》
- 【1】 本日例会後、事務局にてPETS打ち合わせをいたしますので、よろしくお願いいたします。

東大阪RC主催 6年生卒業記念親善試合兼
第8回ロータリー・ラグビーフレンドシップマッチ
報告書

3月10日(日)に好天のなか、花園ラグビー場にてロータリー・ラグビーフレンドシップマッチが開催されました。小学6年生卒業親善試合として8回目を迎え、今年は近畿以外からも西は岡山県、東は神奈川県からの参加もあり、90スクール以上約1500名の児童、父兄・関係者を含めると約5000名が参加した大会となりました。午前と午後に分けて親善試合があり、お昼の休憩時に、子供たちや、応援に駆けつけた家族の熱い視線をあびて、ロータリークラブからの協賛金の贈呈式セレモニーがメインランドにて執り行われました。今年、当クラブの他、東大阪東RC、東大阪中央RC、東大阪西RC、東大阪みどりRC、大阪御堂筋本町RC、大阪難波RC、大阪ネクストRC、大阪南RCのIM4組の8クラブから協賛していただきました。代表として東大阪RCの川端会長は、ラグビー日和に恵まれた中、子供たちの元気な姿とラグビーのすばらしさについて挨拶され大阪府ラグビーフットボール協会石川普及育成委員長へ目録を贈呈いたしました。協賛クラブの東大阪東RCから城戸会長、東大阪中央RCから名村会長、東大阪西RCから柳山会長、大阪ネクストRCから大石会長にご出席していただきました。ご出席の皆さま、協賛いただいたクラブの皆さまありがとうございました。

東大阪ロータリークラブ



委員会報告

◎米山奨学委員会 河村委員長
この度、大橋会員にマルチプル7回目に協力いただきました。有難うございました。引き続き皆様のご協力をよろしくお願い致します。

◎ロータリー財団委員会 芳田委員長
この度、大橋会員にポール・ハリス・ソサエティにご協力いただきました。有難うございました。引き続き皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ロータリーの友 2024年3月号推奨記事から抜粋
「ロータリーの友」北井雄大地区代表委員

広報委員会
広報・雑誌担当 北川 忠嗣

【横組記事】

3月は 水と衛生月間
3月13日を含む1週間は世界ローターアクト週間

P4~5 [RI会長メッセージ]
世界平和の道を探るため紛争の予防と解決に取り組む、積極的平和を促進するために学び、その準備を整える、ロータリー世界平和フェローの取り組みについて紹介されています。

ちなみにロータリーは毎年、世界中のリーダーが平和と発展を学ぶため、最大130人にフェローシップを授与しています。

P6 [ロータリーとは]
歴史的にみても職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりです。
・ロータリーの誕生とその成長
1905年2月23日、世界で最初のシカゴロータリークラブ誕生
現在では全世界の国と地域のクラブ数は36,769クラブ (2024.1月公式発表)
・日本のロータリー
1920年10月20日、日本で最初の東京ロータリークラブ創立
現在では日本全体でのクラブ数は2,205クラブ

P7~15 [特集 水と衛生]トイレ、その先へ
ロータリーの初の奉仕活動は、シカゴ市への公衆トイレの寄贈
【インドのトイレ普及の現状と課題】ロータリー財団学友 元橋 一輝さんの紹介
・トイレに溜まった尿を汲み取る際の料金が非常に高く、利用率が低く、し尿が河川に流され、水質が汚染される問題が発生するなどの課題の解決に取り組みます。

◆改善される世界のトイレ環境
【タイ 継続的な改修で子どもの衛生を維持】東京世田谷RC
・水を汲んで流すタイプのトイレを継続的に改修することにより、安心と衛生状態の保持を維持しています。
【フィリピン 学校に衛生教育を導入し地域に衛生普及】大阪西南RC
・改修前は男女共用のトイレだったのを、改修後は男女別、個室タイプの水洗トイレを建設しました。トイレを作ることで女子の就学率が向上しました。その他、6つの国への奉仕活動例を紹介しています。
日本のトイレは世界に誇る「おもてなし」の象徴

P16~19 [RI会長エレクト ステファニー・アーチック氏]
・ロータリーが「あらがえない魅力」であってほしいと願っている
・最優先課題は、会員増強を図る行動計画を推進すること
・次に、積極的平和を通じて分断された世界を癒すこと

P20~23 [第52回ロータリー研究会 尾身茂氏講演要旨]
感染症との闘い～ポリオ根絶とロータリー～
ポリオ根絶の困難性と、根絶に向けた具体的な指針が示されています。
ロータリアン、日本政府、G7、国連が一つになることが必要です。

出席報告

3月7日

(3/7)の出席者数:25名(0)

3/7 出席率:58.14%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員:53名(免除10名)

	2/15	2/22	2/29
HC出席	休会	23(0)名	26(1)名
MU出席		9(0)名	5(0)名
修正出席率		74.42%	70.45%